

12. 令和4年度交流研究員

交流研究員 氏名	交流研究員受入 研究グループ	指 導 内 容
澤田 知也	構造研究グループ	中層木造建築物の合理的な構造設計法に関する研究 ・ 枠組壁工法中層建築物の合理的な構造設計法
吉田 義久	環境研究グループ	実汚水に依存しない浄化槽の性能評価法に関する基礎的研究 ・ 実汚水に依存しない流入原水に関する基礎的研究等
森本 晋平	環境研究グループ	脱炭素社会における室内環境性能確保と省エネを両立させた設計手法に関する研究 ・ 全般換気及び空調システムの省エネ性及び室内温熱環境（温度・湿度）の評価手法について
佐瀬 毅	環境研究グループ	脱炭素社会における室内環境性能確保と省エネを両立させた設計手法に関する研究 ・ 太陽光発電、燃料電池、蓄電池を導入した住宅の消費エネルギー予測ロジックの構築等、建築物の省エネ効果算定に資する研究
山内 崇	環境研究グループ	異なる衝撃源に対応するユニバーサルな重量床衝撃音レベル低減量推定のための数理モデルの開発 ・ 機械学習を用いた数理モデルの開発
野中 峻平	防火研究グループ	建築物における木材利用に伴う火災性状把握に関する研究 ・ 実験内容の策定及び得られた実験データの妥当性の確認について
河合 邦治	防火研究グループ	多様な在館者と建築物の大規模化に対応した避難安全設計技術の標準化に向けた技術開発 ・ 避難・防災に関する専門知識（性能規定化の考え方、群衆避難・弱者避難に関する評価手法および設計法等）の習得
島本 倫男	防火研究グループ	建築物における木材利用に伴う火災性状把握に関する研究 ・ 有機系断熱材に関する実験的研究
浅野 将巳	防火研究グループ	建築物における木材利用に伴う火災性状把握に関する研究 ・ 有機系断熱材に関する実験的研究
加藤 遼平	防火研究グループ	中層木造建築物の合理的な構造設計法に関する研究 ・ 枠組壁工法中層建築物の合理的な構造設計法
青木 慧	防火研究グループ	建築物における木材利用に伴う火災性状把握に関する研究 ・ 木質内装材の燃焼性状に関する研究
田村 昌隆	材料研究グループ	建築材料の状態・挙動に基づく RC 造建築物の耐久性評価に関する研究 ・ 屋外暴露試験体を用いた塗膜改修実験、劣化塗膜の評価方法

交流研究員 氏名	交流研究員受入 研究グループ	指 導 内 容
山田 久貴	材料研究グループ	<p>有機系接着剤による外装タイル張り工法の面内変形抵抗性に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物の外装仕上げとしてタイル仕上げを行う際、有機系接着剤を用いたタイル張り工法が用いられることが多くみられる。外壁タイルを点検する際には、打診検査やタイルを垂直に引っ張り、強度を測定する引張接着強度試験が実施される。しかし、引張接着強度試験はタイルを面外方向へ引っ張る試験であり、コンクリートの温湿度伸縮に伴う、面内変形抵抗性（追従性）は正しく評価されていない部分がある。 <p>2021年度は有機系接着剤によるタイル張り試験体について、引張接着強度試験とせん断試験を実施し、接着強さ、破壊状態、接着剤層の厚みなどの関係性を検証した結果、接着剤層の厚みがある場合、引張接着強度試験とせん断試験の接着強さに大きな差はみられないが、接着剤層が薄い場合には、引張接着強度試験の方が接着強さは高くなることがわかった。そこで本年度は、JIS A 5557に示される処理により試験体を促進劣化させた後の関係性および、有機系下地調整塗材を下地とする場合について検証する。</p>
谷口 翼	材料研究グループ	<p>CLTを用いた建築物の基本性能検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題建築物の総合的な性能向上への誘導
平野 茂	材料研究グループ	<p>既存木造住宅の耐水害技術の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の抗力式等について
黒田 哲也	材料研究グループ	<p>既存木造住宅の耐水害技術の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の抗力式等について
奥脇 一也	材料研究グループ	<p>建築用シーリング材のワーキングジョイントにおける性能評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築用シーリング材のワーキングジョイントにおける性能評価
イーサ ガサク	材料研究グループ	<p>建築物の安全・維持管理に資するドローンを活用した建築保全技術の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海外におけるドローン技術の動向調査と建築分野におけるドローンの連携の検討」（案）に関する研究を通して、①建築ドローン分野においてグローバルに研究活動していくための企画立案・マネジメント・研究の実践・とりまとめ等に関する一連の方法、並びに②交流研究員として委員会や研究事業に参画することで具体的な社会実装のあり方について指導を希望する。